

「京都市総合防災訓練」に出展

～損保社員とともに地震や水災などの自然災害への備えを呼びかけ～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：白髪 憲司・三井住友海上火災保険株式会社 京都支店長）では、11 月 1 日（土）に京都市の岡崎公園で開催された「京都市総合防災訓練」に出展し、一般社団法人京都損害保険代理業協会および京都府保険代理業協同組合と連携し、地震や水災などの自然災害への備えを呼びかけました。

当損保会と一般社団法人京都損害保険代理業協会、京都府保険代理業協同組合は、2021 年 6 月に京都市と「損害保険に関する連携・協力についての包括連携協定」を締結し、防災知識の普及・啓発や損害保険への加入促進について連携して取り組むこととしており、京都市総合防災訓練には、2023 年から毎年、出展しています。

当日は、大規模災害対応訓練と市民防災啓発が開催され、市民防災啓発には京都市のほか、京都市内の防災関係機関など 29 団体が出展しました。当損保会のブースでは、損保社員のほか、合計で 19 名が参加し、パンフレット「備えて安心 地震保険の話」や「響け！ユーフォニアム」とコラボした水災リスクの啓発チラシ等を配布し、リスクを知って事前に備える必要性を呼びかけました。

また、暮らしの中で防災を考えていただくため「減災絵巻」の展示を通じて来場者に身のまわりのリスクを伝えたり、地震保険に関する「そんぽクイズ」を実施し、地震保険について理解を深めていただいたりしました。来場者からは「地震保険は単独では契約できないとは知らなかった」「地震保険は公共性の高い保険だと知った」との声がありました。

当損保会では、今後も引き続き、京都市や関係団体と連携し、地域防災力の向上に取り組んでまいります。



啓発活動の様子①



啓発活動の様子②



大規模災害対応訓練の様子



損保会社等の参加者